

へき地医療研修

特別貸与(地域枠1年生)

- 【研修場所】 東京都三宅村
- 【研修日程】 平成29年7月31日～8月3日
(3泊4日)
- 【研修参加者】 特別貸与奨学金被貸与者25名
- 【研修内容】

日程	主な実施内容
1日目	* (船中泊)
2日目	* グループ実習 ・ 診療所実習(患者インタビュー、外来診療見学、血圧測定実習等) ・ あじさいの里訪問(特別養護老人ホーム)等 * 役場挨拶・村概要説明 * 島内見学(火山体験遊歩道、郷土資料館 他) * 診療所医師による講義
3日目	* グループ実習 ・ 診療所実習(患者インタビュー、外来診療見学、血圧測定実習等) ・ 保健所見学 * 島内見学(権取神社 他) * 研修発表会
4日目	* 島内見学(七島展望台 アカコッコ館 他)

一般貸与(大学5年生)

- 【研修場所】 東京都新島村
- 【研修日程】 平成29年8月7日～9日
(2泊3日)
- 【研修参加者】 一般貸与奨学金被貸与者5名
(1名欠席)
- 【研修内容】

日程	主な実施内容
1日目	* 役場挨拶・村概要説明 * 島内見学(羽伏浦展望台、くさやの里 他) * 新島老人ホーム訪問(特別養護老人ホーム) * 新島村本村診療所医師による講義 他
2日目	* グループ実習 ・ 診療所実習(患者インタビュー、外来診療見学、患者血圧測定等) * 夕方、新島港発、式根島着 * 式根島診療所医師による講義 他
3日目	* グループ実習 ・ 診療所実習(患者インタビュー、外来診療見学、患者血圧測定等)

自治医科大学・地域枠合同研修

- 【研修場所】 東京都小笠原村(父島・母島)
- 【研修日程】 平成29年8月12日～18日
(6泊7日)
- 【研修参加者】
 - ・ 自治医科大学 6名(1年生、3年生、5年生)
 - ・ 特別貸与奨学金被貸与者の希望する者
(今年度は参加者なし)
- 【研修内容】

日程	主な実施内容
1日目	* (船中泊)
2日目～4日目 (父島)	* 診療所実習・デイスアービス見学 * 村役場、有料老人施設等訪問(意見交換等) * 学生による健康教室 テーマ「知って防ごう熱中症～症状から対策まで」 他
5日目～6日目 (母島)	* 診療所実習 * 診療所医師による講義 他
6日目 (母島・父島発)	* 島内見学 * (船中泊)
7日目	* 竹芝桟橋着

～研修アンケートから～

- 外来診療見学では、1歳から90歳までの幅広い年代の患者を診ており、家族構成から生活環境のことまで配慮した診察を行っている姿を見て、「病気を診ずして病人を診る」という姿勢を目の当たりにすることができた。(特別・1年)
- 島での生活は大変なこともたくさんあるが、とてもやりがいがありそうで、先生方も自分の仕事に誇りを持っていてとても感動した。研修をとおして、将来へき地医療に従事したい気持ちが強くなった。(特別・1年)
- へき地医療は、資源が限られていて十分な医療を提供できないと思っていたが、機材等充実している島の医療の充実具合を知ることができた。医療資源を自分で采配する医師一人にかかる責任の重さも感じた。(特別・1年)
- 先生のお話しの中での「私の医療レベルが島の医療レベルになる」という言葉を聞き、大きな責任感をもって、島の医療に従事しているということを強く感じ、非常に印象に残った。(一般・5年)

etc...

地域医療に関する講義・ワークショップ

～研修概要～

- 【研修日程】 平成29年10月21日(土曜日)
- 【研修会場】 東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 大学1号館
- 【研修参加者】 特別貸与奨学金被貸与者24名(3年生)
(1名欠席)
- 【研修内容】
 - * 現役医師による講演
 - ・ 学生のうちにやるべきこと
 - ・ 小児科医、救急医の魅力 など
 - * グループ討論は、5グループに分かれて実施
「講演者、東京都への質問」をグループで討論し、発表
 - * 附属病院見学

時間	主な実施内容
	医療人材課長挨拶
	自己紹介、グループワークについての趣旨説明
	現役医師による講演① 山岡 正慶 先生 (東京慈恵会医科大学附属病院 小児科)
	グループ討論①
13:00 ～ 17:30	大学附属病院見学
	現役医師による講演② 大瀧 佑平 先生 (東京慈恵会医科大学附属病院 救急科)
	グループ討論②
	グループ討論③ (東京都及び大学教職員との質疑応答)
	東京都及び大学教職員との質疑応答

～研修アンケートから～

- 実際に臨床で活躍している、現役の医師の話を知ることができ、自分の現状・生活スタイル・将来像を考え直すいい機会となった。
- 先生方の講演では、どうしてその科を選んだのか、普段どんな生活をしているのか、リアルな話を聞くことができ参考となりました。まだ、どの分野に進むかは決めていないが、将来どのような医師を目指すか考えるにあたり、大変刺激を受けた。
- グループ討論では、他大学の地域枠の学生と意見交換をすることができ、普段できない経験ができ、いい刺激となった。病院見学では、他大学の病院を見学することができ、設備の違いや雰囲気の違いを感じることができ、良い経験になった。
- 都職員から奨学金制度の話を知ることによって、制度のことで今まで不安に思っていたことを解消することができた。

etc...